

## 「第 28 回固定資産評価研究大会」展示会への“初”出展ご報告と御礼

NTT-AT エムタックは、2025年10月10日に開催された「第 28 回 固定資産評価研究大会（主催および運営：一般財団法人 資産評価システム研究センター）」における“固定資産税業務の ICT・GIS の活用に関する展示”に初出展いたしました。

当日は自治体職員様をはじめ全国各地から多くの皆さまに弊社展示ブースへお立ち寄りいただき、家屋評価支援システム「HOUSAS」をはじめ各種周辺サービスに関し、熱心なご質問やご相談などを賜り、弊社としましても大変な励みになると同時に、今後に向けての貴重なご意見を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。

### ■「固定資産評価研究大会」の目的

固定資産評価研究大会は、固定資産の評価及び固定資産税に関する諸課題をテーマに、地方団体職員、不動産鑑定士、学識経験者等の参加の下に開催し、講演、パネルディスカッション、分科会発表等を通じて、固定資産の評価等に関する研究の振興を図るとともに、広く固定資産税制度全般について国民の理解を深め、関係者相互の連携を促進する場とすることを目的に毎年 10 月に開催されています。

「固定資産税業務の ICT・GIS の活用に関する展示」においては、弊社を含む過去最高の 16 社が 出展し、固定資産税に関する業務効率化の観点から様々なシステムやソリューションの紹介がなされました（弊社は本年が“初”出展）。

### ■弊社ブースへのご来訪状況

弊社ブースへは、「HOUSAS」の既存ユーザ様（来訪者の 63%）に限らず、新規導入や移行検討も含め多くのご来訪をいただきました。日常的な運用上の課題から家屋評価業務の一層の効率化に向けたご相談など内容は多岐にわたり、テーブル席でのご説明時間も 30 分から 1 時間と長きにわたりました。

商材/サービスに関しては、「HOUSAS」本体はもちろん、家屋台帳ファイリングシステム「HOUSTRAGE」や家屋台帳電子化サービス「HOUSCAN」、また新たにサービス開始した家屋調査訪問日程調整サービス「HOUSCHEDULER」など、家屋評価業務を下支えする周辺領域へのご関心やご期待が極めて高く、今更ながら総合力としての「HOUSAS Ecosystem」拡張を進めなければならないと意を強くいたしました。

弊社では、展示会ブースにて直接賜りましたご意見/ご要望や励ましのお言葉などを糧に、引き続き自治体の皆さまの家屋評価業務効率化に向けて、「HOUSAS」をより使いやすいものに進化させつつ、その周辺商材/サービスも含めた「HOUSAS Ecosystem」の拡張に向けて邁進してまいります。

ご来訪いただきました皆さんに心より御礼申し上げますとともに、今後ともよろしくお願いします。